

弓道部

11月3日に愛媛県総合運動公園弓道場で第43回愛媛県高等学校弓道選抜大会が行われました。

結果は、女子個人で和田芽育さんが2位となり、12月25日に三重県四日市市で行われる全国選抜大会に出場することとなりました。また、男子団体も2位となり、11月17日に香川県の琴平高校で行われる四国弓道新人大会に出場することとなりました。男子個人でも、木下蒼介くんが3位入賞しました。さらに、補助員として大会運営に多くの部員が携わってくれたおかげで大会を無事終えることもできました。

選抜大会は、3人立なので、最大4名までしか団体戦にエントリーできません。その中で、メンバーに選ばれなかった選手も自分の役割を見つけて、サポートしてくれるおかげで、こうした華々しい結果を残すことができています。さらに、試合に出た選手も活躍し、結果を残すことで今回、試合に出られなかった選手にも刺激を与え、次こそは自分も試合に出るぞという強い思いを持ち練習に臨むことができています。こうした伝統をつないでくれるおかげで、松山南高校弓道部は、連続して全国大会に出場することができています。あとは、学校生活でも中心的に活動して、応援されるチームになってほしいと思っています。



弓道部

結果報告

昨年 12 月 23 日に東京都足立区の東京武道館で開催された、第 42 回全国高等学校弓道選抜大会に、2 年 5 組の重森陽翔君が男子個人として出場しました。結果は、予選を 4 射皆中で通過したものの、続く準決勝で敗退しました。全国の舞台で中て続けることの難しさを実感し、中る射形を目指して練習に励んでいきます。

年が明けて、1 月 13 日～14 日に今治西高校で令和 5 年度愛媛県高等学校弓道新人大会が行われ、男女団体優勝することができました。男子は、昨年に続き新人戦 2 連覇となりました。昨年 11 月に行われた選抜大会では、男女ともベスト 8 で敗退し、悔しい思いをするとともに、自信を失いかけていました。しかし、今回優勝したことで自分たちの力を再認識することができ、総体に向けてよい励みになりました。また、女子個人では、2 年 3 組の徳丸ひなたさんが 2 位になりました。中心選手として、団体を引っ張ってくれました。ここその場面で頼りになれるように、さらに的中を磨いてほしいです。

今回の新人戦の優勝で、3 月 23 日～24 日に鳥取県で開催される西日本弓道大会の優先出場権を獲得しました。参加することになれば、愛媛の代表として恥ずかしくない戦いができるよう、さらに実力をつけていき、インターハイに男女団体で出場できるように、精神力も鍛えてきます。



6 月 3～5 日に、愛媛県総合運動公園弓道場で、愛媛県高等学校総合体育大会弓道競技が行われました。結果は、女子団体が 49 年ぶりに優勝し、男子団体も 2 位となりました。女子は、8 月 3 日～6 日に札幌で行われる全国総体に出場します。49 年前に先輩方が出場した時の記録は、全国優勝です。その偉大な記録に挑戦し、49 年ぶり 2 度目の全国優勝を目指したいと思います。また、6 月 17～18 日に愛媛県で四国総体が行われ、男女団体で出場します。男子は、今回の悔しさを四国の場で晴らし、有終の美を飾ってほしいです。

今回も、多くの部員が応援に駆けつけてくれました。3 年生も忙しい中応援してくれました。離れていても心はつながっています。これから苦しくなるときもあると思いますが、弓道部での出会いを大切に、乗り越えていってほしいと思います。



4月23日(日)に、愛媛県総合運動公園弓道場で令和5年度愛媛県総合体育大会弓道競技の中予地区予選が行われました。3年生にとっては、今までの集大成となる最後の大会です。結果は、男子団体と女子団体がそれぞれ優勝し、6月3日～5日に同じく愛媛県総合運動公園弓道場で行われる愛媛県総体に出場します。男女団体が中予地区で優勝したのは、ここ5年間では初めてのことになり、練習の成果が表れています。

個人戦は、男子個人3位に入った島田隼暉君をはじめ米田海輝君と高橋悠太君、笹田侑汰君4名の男子と濱本萌衣さんが県総体に出場します。団体の結果からすると個人で県総体に出場する選手が少なく、よく言えば全員でバランスよく中てられるチームですが、エースがいないとも言えます。ここからの1か月で個人戦出場選手はもちろん、それ以外の選手もしっかりと的中が出せるように修正して、悲願の団体優勝とインターハイへの男女での出場を目指してがんばります。

また、3年生をはじめ1・2年生も大会運営の補助員として手伝ってくれました。おかげでスムーズに大会を終えることができました。ありがとうございました。選手の皆さんはこうした陰で支えてくれる友達がいることをしっかりと自覚しチームの代表として最後まで頑張ってください。



1月14日、15日に今治西高校で令和4年度愛媛県高等学校弓道新人大会が行われました。結果は、男子団体が優勝し、県選抜大会に続き愛媛県大会2冠となりました。年末の全国選抜でも上位に入賞し、注目される中で結果が出たことは大きいですが、なかなか高いレベルで的中が安定せず、インターハイ出場や全国大会での上位入賞にはまだまだ程遠い内容でした。この結果に満足せず、高いレベルを求めて練習してほしいです。

一方で、女子団体は予選4位の結果を出しながら、決勝トーナメント1回戦で川之江高校に敗れベスト8でした。1年生中心の若いチームで、的中にムラが出るところが大きな課題です。自分の矢の飛ばし方をしっかりと身体に覚えさせるところから出直します。そのために、限界まで弓を引いて量を求めて練習してほしいと思います。ここ最近は男子の調子がいいですが、女子も負けずに上位入賞目指して頑張ります。



明けましておめでとうございます。今年も松山南高校弓道部をよろしくお願いいたします。

昨年の結果報告です。愛媛県弓道選抜大会で優勝した男子団体は、11月20日に高知県立弓道場で行われた四国新人大会に出場しました。結果は、予選敗退となり愛媛県1位校として不甲斐ない結果に終わってしまいました。

その後、12月11日に松山西中等教育学校で行われた中予地区新人大会に出場しました。男子団体が優勝、女子団体も5位となり1月14～15日に今治西高校で開催される愛媛県弓道新人大会への出場権を獲得しました。また、1年生も初めての公式戦出場となり、1年生男子の部で1年7組の笹田侑汰くんが第3位、1年生女子の部で1年2組の濱本萌衣さんが第2位、相原麻名さんが第3位となりました。また、2年生女子の部で2年2組の南館百花さんが第3位に入るなど個人での活躍が目立ちました。

そして、12月23～25日に熊本県で行われた第41回全国高等学校弓道選抜大会に愛媛県予選を勝ち抜いた男子団体と男子個人で小笠原悠哩くんが出場しました。男子個人は、決勝まで進んだものの、決勝射詰2本目で外し、順位なしという結果に終わりました。しかし、男子団体は予選を8中で通過すると、地元熊本の千原台高校、強豪の倉吉西高校に競り勝ち、準々決勝に進みました。結果は、優勝校の市立松戸高校に10-11で敗れ、全国5位入賞となりました。あと1本の重みを経験し、更なる高みを目指してこれから練習に励みたいと思います。そして、今年こそは団体でインターハイ出場を果たしたいと思いますので、応援よろしくお願いいたします。



11月6日、愛媛県総合運動公園弓道場で、第41回愛媛県高等学校弓道選抜大会が開催されました。男子個人で2年6組の小笠原悠哩くんが優勝、また男子団体も3年ぶり2回目の優勝を飾り、12月23日～25日に熊本県で開催される全国高等学校弓道選抜大会への出場権を獲得することができました。個人と団体での全国大会出場は、初めてのことなので非常に楽しみです。

しかし、女子団体は、惜しくも予選で敗退し悔しい思いをしました。また、個人戦にも男女合わせて5名出場していましたが、予選を通過できたのは、優勝した小笠原くんだけという結果でした。それでも、男子団体で優勝できたのは、個々の力に頼らず、お互いを信じて試合に臨めたからだと思います。松山南高校の強さの秘訣は、お互いに切磋琢磨しあいながらも楽しく練習できることだと思います。全国大会でも、お互いを信頼し今年こそは予選を突破して、上位入賞できるように、一日一日を大切に練習に励んでもらいたいです。



9月24日土曜日に第41回愛媛県高等学校弓道選抜大会中予地区予選が行われました。結果は、男子団体が第1位と第2位、女子団体が第3位となりました。また、個人戦では、2年5組の米田海輝くんが第1位、2年4組の島田隼暉くんが第3位となり、2年5組の渡邊叶真さんと黒田彩月さん、2年6組の小笠原悠哩さんと合わせて、県大会への個人出場を決めました。

今回の結果に満足せず、全国選抜出場を目指してしっかりと課題を修正して残り1か月を過ごしてほしいと思います。また、今回は補助員として弓道部全員で大会運営を行いました。朝早くからしっかりと自分たちの責任を果たしてくれました。これから、市民大会や県選抜大会など大会が続きます。個人個人で目標をしっかり持って、より高いレベルを目指して頑張ってください。



R4年8月28日(日)

宇和島市丸山公園弓道場で開催された県下宇和島弓道大会に参加してきました。コロナウイルス感染症の影響で、練習試合が組めないなど多くの制限があった中、新チームになって初めての試合となりました。

特に1年生は、初めての試合が大会とあって非常に緊張していましたが、日頃の練習の成果を存分に発揮してくれたと思います。結果は、個人戦で2年5組の渡邊叶真君と2年2組の南館百花さんがそれぞれ男女個人優勝するなどますますの結果となりました。しかし、団体戦では、試合内容が非常に悪く、どんな場面でもしっかりと的中を出せるように修正しないと、全国選抜大会出場へは程遠いと感じました。

これからしっかりと課題を修正して、選抜大会の中予予選を突破し、県選抜大会へ出場できるようにがんばりたいと思います。



R4年4月24日(日)

愛媛県総合運動公園弓道場にて、令和4年度中予総体が行われました。

コロナ禍で、県新人大会が中止になり、実に4か月ぶりの公式戦でした。大会や練習試合がない中で、インターハイ出場を目標にモチベーションを保って練習してきました。

結果は、男子団体が第1位、女子団体が第3位で県総体出場を決めました。男子は、中予新人でも優勝しているので、2冠達成となりました。また、男子個人でも3年7組の石元辰実君が第1位となり、2年5組の渡邊叶真君と2年6組の日野末琴さんと合わせて3名の選手が県総体に個人出場となりました。少しでも長く3年生と共に練習できるように、県総体ではインターハイ目指して頑張ります。応援よろしくお願いします。

また、多くの1年生が入部してくれました。1年と2年生を中心に補助員として大会運営にも携わってくれました。ありがとうございました。1年生は、初めての弓道の試合でしたが、先輩たちが活躍する姿を見せることができました。早く基礎練習を終えて、弓道場で弓を射けるように、頑張りましょう。





12月12日に、松山西中等教育学校で愛媛県高等学校弓道新人大会中予地区予選が行われました。今大会は、1年生が初めて参加する公式戦でした。

結果は、男子団体が第1位、女子団体が第2位となりました。また、個人戦では、1年生女子の部で、1年5組の南館百花さんが優勝、同じく1年4組の日野未琴さんが第3位になりました。また、1年生男子の部では、1年6組の小笠原悠哩くんが第2位になりました。一方で、2年生は、修学旅行明けの影響か、個人戦に残ることができませんでした。1年生が着実に実力をつけており、これからが楽しみです。2年生もしっかりとコンディションを整え、1月15日・16日に行われる県大会では、上位入賞を果たしてもらいたいです。

今年の公式戦は、これで終わりましたが来年も全国大会出場を目標にしっかりと練習に励みたいと思いますので、応援よろしくお願ひします。



7月29日に新潟県上越市の謙信公武道館で行われた、令和3年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に302HRの渡部陸君が出場しました。四国総体で優勝し、全国大会でも上位入賞を目標に練習してきましたが、結果は準決勝敗退でした。ただ、予選を4射皆中で通過するなど、自分の持つ力は存分に発揮してくれたと思います。

後輩たちも先輩の背中をしっかりと追いかけて、今年の全国選抜に出場できるように練習に励んでほしいと思います。これで、3年生は全員が引退することになりました。受験勉強をしっかりと頑張り、受験で結果を残すことで、後輩が最後まで弓道にしっかりと打ち込むことができる安心感へとつながります。ぜひ、全員第一志望校合格を勝ち取る姿を後輩たちに見せてください。今まで、ありがとうございました。



7月22日、23日、25日に松山北高校、新田高校、松山東高校と練習試合を行いました。新チームになって初めての練習試合でした。昨年から新型コロナウイルスの影響で試合経験が不足していただけに、実践的な練習では非常に多くの課題を見つけることができました。

また、新田高校では、体配について指導していただきました。弓道は的中だけでなく一連の振る舞いも審査されます。普段は道場が狭くなかなか気を遣うことができないことなので、非常に有意義な一日になりました。9月の選抜大会中予選突破を目標にまた少しずつ練習していきます。



6月19日土曜日に、徳島県の鳴門・大塚スポーツパーク弓道場で第62回四国高等学校弓道選手権大会（四国総体）が行われました。本校から302HRの渡部陸くんが弓道男子個人に出場しました。

結果は、見事優勝し、インターハイに向けて弾みをつけることができました。予選1回目と準決勝では、悪い所も出てしまいましたが、しっかりと修正して優勝するあたりは、さすがの一言です。

決勝戦では、4射皆中後は、36 cmの的から24 cmの八寸的の的が一回り小さくなります。それでも24cmの的に3本を連続的中して、優勝しました。

インターハイでは、松山南高校の代表として、愛媛の代表として、四国の優勝者として堂々とした射をみせてもらいたいです。インターハイでも優勝目指して頑張りますので、応援よろしくをお願いします。



6月5・6日に愛媛県総合運動公園弓道場で令和3年度愛媛県高等学校総合体育大会が行われました。

5日は、団体予選1回目と個人競技が行われました。女子団体は7中、男子団体は13中でした。個人競技では、302HRの渡部陸君が、予選8射中の7中を的中させて決勝に進出しました。決勝では、男子7名のうち、陸君を含めた3名が4射と皆中し、インターハイへの切符2枚をかけた決勝射詰競射に挑みました。普段通りの射ができれば、十分勝てると思っていましたが、やはりインターハイがかかった1射は緊張したのか、普段の射とは異なるものでした。しかし、運の味方もあってなんとか2位となり、松山南高校では昭和34年以来となる男子個人でのインターハイ出場となり、優勝しながらコロナウイルス感染症の影響で個人開催がなかった昨年の全国選抜大会のリベンジを見事に果たしてくれました。

6日は、団体予選2回目と準決勝リーグが行われました。女子団体は大前の2年生大屋敷ゆいさんの皆中もあり、何とか13中して合計20中で予選を通過しました。女子は、このチームになって団体では1度も県大会で予選を突破することができなかったため、最後の舞台にしっかりと結果を残すことができました。男子団体はこの日も13中して合計26中の3位で準決勝リーグに進出しました。

準決勝リーグでは、女子は済美高校に9-8で一勝したものの、ここの一番の場面で普段の力を出し切れず、残る松山工業高校と宇和島南中等教育学校に敗れてしまいました。しかし、他の学校と比べても大きな力の差はなく、こちらが普段通り結果を出せば十分にいい勝負になっていただけに3年生にとっては悔しい敗戦となりました。

男子は中予地区優勝の新田高校と東予地区優勝の今治工業高校と全国大会常連校の西条高校が同じリーグにいる非常に厳しいリーグになりましたが、インターハイ出場を目標に今まで練習に取り組んできたので、何とか2位までに入りたかったです。しかし、西条高校には、何とか勝利したものの、一番の新田高校に14-15で敗れてしまい、続く今治工業高校にも14-15で敗れてしまいました。1本差の敗戦でしたが、どちらの試合も最後の5本まで2本リードしながら、5本中3本を外してしまいここの勝負弱さが出てしまいました。一方の新田高校や今治工業高校は最後の5本をすべての的中させる勝負強さを持っていて、まだまだ実力も気持ちも足りないことを実感しました。

3年生は、渡部君以外今回の総体をもって引退となりますが、残る2年生はこの悔しさをバネに大きく飛躍してくれるのではないかと思います。特に、男女主将の高野瑞樹君と衛藤七海さんは、敗戦した次の日も部活が休みにも関わらず自主練習をしっかりと行っており、責任感の強さを感じます。3年生が残した伝統をしっかりと次の世代に受け継ぎ、来年こそは優勝旗を持って帰りたいと思います。

応援に来てくれた3年生の皆さんありがとうございました。またいつでも弓道場に遊びに来てください。



5月8日土曜日に、聖カタリナ学園高校とオンラインで練習試合を行いました。新型コロナウイルスの影響で練習試合などが禁止になり、久々の実践的な練習に、とても良い経験ができました。

弓道は、オンラインにも非常に適した競技であり、オンラインの大会なども積極的に行われています。コロナ禍の中、どうしても実践不足になりがちですが、うまく工夫することでより緊張感を持った練習ができることがわかりました。聖カタリナ学園高校の実力にはまだまだ及びませんが、今日の経験を活かし、県総体では少しでも上位に食い込めるように残りの期間を練習していきたいと思えます。



4月25日(日)に愛媛県総合運動公園弓道場で、令和3年度愛媛県高等学校総合体育大会中予地区予選が行われました。

春休み中に予定していた練習試合がすべて中止になり、学校の中でできる限りの緊張感を持たせながら練習してきたつもりでしたが、やはり、本番のプレッシャーは普段とは異なるもので、実力を十分に発揮できませんでした。

最低限男女ともに、団体での県総体出場権を獲得することができたので、残り1か月で練習通りの力を出し切れるように本番を想定した練習をしていきたいと思えます。

また、個人戦では、201の亀井莉寧さんと302の渡部陸くんが県総体に出場します。県総体では、必ず皆中が必要な場面があるので、1本1本丁寧な射を心掛けて、インターハイを目指します。



令和3年1月29日、全校朝礼による表彰伝達で弓道部が表彰されました。

- 結果：中予地区新人大会 2年生男子の部 第1位 渡部 陸
2年生女子の部 第1位 大松 聖奈
1年生女子の部 第2位 大野 華奈
男子団体 第2位
愛媛県新人大会 男子個人 第1位 渡部 陸
男子個人 第3位 尼崎 智大
男子団体 ベスト8

渡部陸君は、1年前の中予地区新人大会1年生男子の部でも第1位でした。だいぶ大人びた表情になっています。また、彼は11月の愛媛県選抜大会に続いて、愛媛県新人大会でも個人優勝したので、男子個人2冠達成です。ぜひ、総体予選も勝ち抜いて、インターハイに出場してもらいたいです。

次々と力を付けている選手がいるので、団体競技でもインターハイ目指して練習に励みますので、応援よろしくお願いします。

また、松山南高校を考えている中学生の皆さん、弓道は高校から始める競技でスポーツが苦手な人も気軽に楽しめるので、ぜひ松山南高校と一緒に全国大会を目指しましょう。





12月20日に第40回松山市秋季（坊ちゃん）弓道大会が、愛光学園で開催されました。

成績は 団体：男子 優勝（松山南Aチーム）、3位（松山南Bチーム）

女子 優勝（松山南Aチーム）

個人：男子 優勝（渡部陸（2年））

団体は、松山南高校のアベック優勝となりました。

試合になると緊張し、通常の実力が発揮できない時もあります。

今後も練習を重ねて、仲間と切磋琢磨し、心と技を磨きたいと思います。

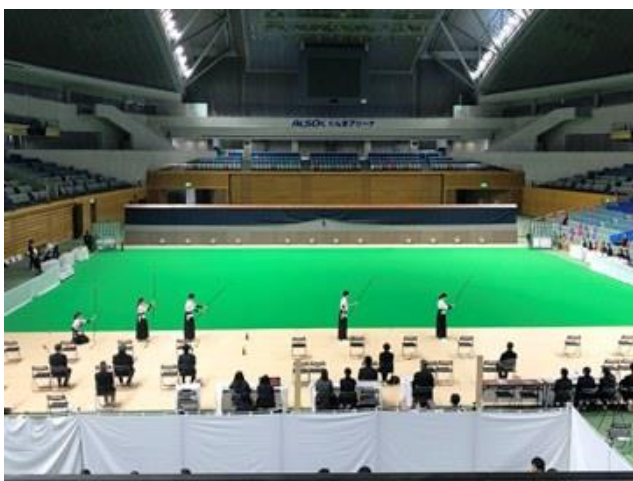


11月1日に愛媛県総合運動公園弓道場にて、第39回愛媛県高等学校弓道選抜大会が行われました。コロナ禍の中無観客で行われ例年とは違った雰囲気の中での試合でした。結果は、個人で、203HRの渡部陸君と201HRの大松聖奈さんがそれぞれ優勝し、松山南高校のアベック優勝となりました。ただ、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国大会も規模を縮小して行うため、個人競技が開催されません。3年連続の全国大会は、なんと残念な形で達成できませんでしたが、男子団体が3位となり四国大会に出場することになりました。渡部君は、四国大会に団体で出場するので、この悔しさは四国大会で晴らしてもらいたと思います。新型コロナウイルスの影響で、休校が続き、高校総体などの公式戦も中止となる中で、なかなか思うように練習ができず、実戦経験も不足した中で臨んだ、今年最初の公式戦でした。少しずつ本来の力を取り戻しつつあるので、来年のインターハイに向けて、この冬しっかりと力を付けていきたいです。応援ありがとうございました。



全国高等学校選抜大会(弓道部)

あけましておめでとうございます。今年も松山南高等学校弓道部をよろしくお願いいたします。
 少し遅くなってしまいましたが、全国高等学校選抜大会の結果報告です。12月23～25日に群馬県前橋市のアルソック群馬アリーナで第38回全国高等学校弓道選抜大会が行われました。結果は、予選敗退となり2年連続で全国の厚い壁を感じました。
 全国大会で予選突破をするために、まだまだ精神面から成長していくことが大切だと気づき、日頃の授業態度や生活態度から改善していかなければいけないと思いました。そのために、今年から新しい取り組みも始めています。普段から周りを気遣い、広い視野を持つことで客観的に自分を見つめることができれば、緊張した試合中にも細かい射の修正ができるようになると思います。
 インターハイ出場と全国大会での予選突破を目標に今年も千射万箭の思いで練習に励んでいきたいと思います。



令和元年度愛媛県高等学校弓道新人大会中予地区予選

12月8日に松山西中等教育学校弓道場で令和元年度愛媛県高等学校弓道新人大会の中予地区予選が行われました。結果は、男子団体が優勝、女子団体が3位となり、1月に今治西高校が行われる県大会に出場することが決まりました。今回も多くの生徒が応援に駆けつけてくれました。選手が試合に集中できるのも、こうした生徒たちが配慮してくれたり、応援してくれたりするおかげです。ありがとうございました。

この大会から1年生が主力として出場するようになり、1年生男子の部では、渡部陸君が優勝、高橋玲君が2位になりました。また、2年生女子の部では、田村真菜さんが3位となりました。今回は、思うような結果が出なかった生徒が多かったので、その悔しい気持ちをバネにこれから練習に励み、県新人でも結果が残せるように頑張ります。

